

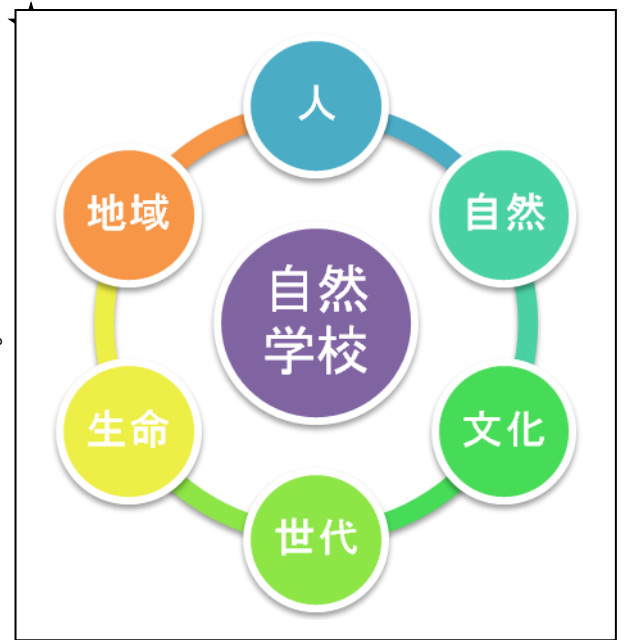
# ★ ご質問にお答えします！

## ●自然学校の役割は？

子どもは一粒の種。誰もが可能性に満ち溢れ、貴重な存在です。彼らは栄養の投与ではなく、自分の力を発揮できる「環境」を求めています。その意味で家庭や地域はまさに大切な土壌。太陽や月が巡り、水が流れ、それぞれが響きあう世界。豊かな経験こそが、人の心身を伸ばし、磨きます。

森の木々が地下で手をつなぎ、支えあっているように、他の命を生かし、生かされる世界。地元の大人を巻き込み、おじいちゃんおばあちゃんが輝き、子ども達がスクスクと成長してゆく。

それぞれの【風土に根ざした絆や教育】が人と社会を育てると信じています。自然学校は豊かな土壌の一つとして、人と人をつなぎ、人と自然をつなぐ架け橋です。



## ●森の遊学舎とは？



森の遊学舎は【根っこを育む】自然学校です。私達は子ども達に「生きる喜び」と大きな「世界観」を伝えていきたい。子どもが「生きる価値」に気づく瞬間。それは**本物の生命と出逢う「感動体験」**なくして在り得ません。「未知」への挑戦。その原動力は**地球と暮らす試行錯誤の「生活体験」**です。私達は子どもが「自信」を培い、誇りを持って生きる【**根っこ**】を育みます。

## ●根っこを育むとは？

人間の寿命を遥かに超えた巨樹。生命力に溢れた圧倒的な存在感。けれど元を辿れば、とんでもなく小さな種でした。では、なぜそこまで成長することができたのでしょうか？少し考えてみてください…。もし根を深く延ばさずに、幹を高く、枝葉を広げた場合、樹はどうなるのでしょうか？結果は明白ですね。大切な子ども達の人生を考え、10年、20年もっと先を見据えるならば、**土に隠れた部分を育てることが必要**では？と思います。子ども達の輝く人生のために、心と体の見えない【**根っこ**】を育てていきましょう！

## ●会員制度は人と出逢い、価値観を共有し、育てる場です。

NPO 法人として活動していくためには、法律上の規定により10名以上の正会員が必要です。しかし、それ以上に私達が大切にしたいのは一緒に活動する「仲間」です。森の遊学舎の理念や活動内容をご理解いただき、ここで、共感できる価値観や人と出逢っていただけると嬉しいです。もしかしたら、世の中的には少数かもしれませんが、各自ができることを考え、自発的に行動していく中で、悩んだり、迷ったりした時。また楽しいことを共有したい時。ここにある人と人の「絆」があなた自身や大切な人を助けることでしょう。

## ●どんな人が会員になっていますか？

子ども(幼児～)、大人(20代～60代の男女)、家族(お父さん、お母さんと子ども2人)、家族(お母さんと子ども)など様々です。

## ●どこに住んでいる方が会員になっていますか？

2008年度は大阪府、石川県、群馬県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、福島県にいらっしやいます。もちろん、これ以外の都道府県でも会員になっていただけます。

遠くの方でプログラムに参加できない時は、お友達をご紹介いただいたり、各種のボランティア活動で支えていただいています。また森の遊学舎からは「遊学通信」やお一人ずつの興味関心、暮らしにあわせて情報提供をさせていただいています。

## ●会員の方はどんな思いで入会し、活動に参加しているのでしょうか？

私達は世代と地域を越えて、人と人の出逢う場づくりをしています。会員の方から届いたメッセージをいくつかご紹介します。

「森の遊学舎のキャンプで、うろこつりを覚えることができた。野人キャンプで諦めない心をおしえてもらった。火の扱いがわかり、火が怖くなくなった。子どもを信じてくれる。子ども扱い(赤ちゃん扱い?)しない。生活の原点を経験したり、子供が自分たちで行動すること、周囲の人たちに支えられるキャンプを経験できたりと、家庭ではできない貴重な経験ができた。」(Tさん家族)

「日常生活を新しい視点から見つめなおすことができる。「本当に豊かなことって何？」という問いを森の遊学舎からもらいました。その答えは人それぞれあっていいのだと思うけれど、まずは考えてみるのが大切。今の生活に疑問を持った人が受け止めてもらえる場所、そういった疑問をみんなで共有する場所。」(Mさん・20代男性)

「自然に触れることを教えてもらった。都会に住んでいても御蔵島の景色やら、イルカが泳いでいることやら、千年の樹のことやら、火のにおいや子どもたちがすくすくと育っているであろうことやらを思い出せるようになってわたしは変わったからです。都市で日常生活をしていてもいつでも、そういう自然の中に行くことができることを知り定期的に帰りたくなるからです。それで、パワーをもらって生きられるからです。」(Tさん・30代女性)

「子どもたちにとっても、私自身にとっても、何かに迷った時、悩んだ時などに方向を見出せる“道しるべ”のようなものになっている。親では絶対にしてあげられないような体験を、子どもができる場所であり、真の“生きる力”を育める、人間としての根幹となるような部分を育ててもらっていると思う。」

「子どもにとって、“自分”でいられる場所、“自分”をしっかりとったり、作りあげていける場所だと思う。(子どもが参加させてもらうことが多いが)子どもを通じて、親もまたその体験を知り、その世界に触れ、学び、世界が広がっていると感じる。」

「ずばり！楽しいから。生きていくうえで、楽しいと感じることをたくさんしたいと思うから。楽しいことはいっぱい必要だと思うから。(その“楽しい”の中に、上記のようなことが含まれているのだと思います)」(Kさん・40代女性)

## ●なぜ少人数制なのですか？

これは、よく聴かれます。団体の運営上、多いほうが経済的に楽になるのでは？・・・とご心配いただくこともしばしばです。確かに、そうかもしれません。私達も50人以上の方々と一緒にいる時があります。ただ、そこにはいろいろな限界があることが解りました。例えば、2時間の間に50人の名前と顔が一致するでしょうか。子ども達が本当に自分のしたいことをできるでしょうか。小さなグループに分けて活動すれば、それで大丈夫だというご意見もありますが、そうでもないことがあります。どんなに素晴らしい場所でも、どんなに素晴らしいプログラムでも、その時、その場の許容量があるのです。社会の動きは経済的な関係を主眼としてしまったために、ひとり一人が自然体でいられるという大きな価値を見失っています。

私達は顔が見える信頼関係で、ひとり一人を尊重したい。やりたいことができる！失敗してもやり直せる♪そんな場づくりを心掛けています。そして、あとはじっくり、ゆっくり、自己決定してゆく中で、心もま～るく輪になって、内側から気づき、共に成長できたらと考えています。実際に体験してご理解いただければ、とても嬉しいです。

## ●どんな人がスタッフですか？

社会人が中心ですが、大学生や主婦の方もいらっしゃいます。野外教育のプロだけではなく、小学校教員、ホームヘルパー、定年退職をされた方、夢のためにアルバイトをしている方、子育て中のお母さんなど、それぞれユニークな存在です。世界中の旅の話を聴いたり、新しい世界観を感じたり、楽しんでおつきあいただけると嬉しいです。毎月1回のスタッフ定例会やプログラム前後の研修などを実施し、安全で楽しい活動に努めております。私達も毎日が学びの場であり、みなさんとの出逢いの中で成長しています。

【お問い合わせ・お申込は…】NPO法人 **森の遊学舎** 担当:大西 →

E-mail: [yajin@ugaku.com](mailto:yajin@ugaku.com) 電話/FAX: [0241-66-3371](tel:0241-66-3371)

〒967-0016 福島県南会津町藤生(とうにゅう)字向坪(むかいつぼ)1261-1 <http://www.ugaku.com>

【世の中は私達の「選択」と「行動」の結果です。今ここから、気づいた人が始めること。まずは小さな一歩を！】



# ご寄付のお願い

★実績:08'(2名 4000円)⇒09'(13名 79540円)⇒10'(20名 82540円)⇒11'(241名 274万円)

「NPO 法人 森の遊学舎」はさまざまな形でのご寄付を募っています。ご寄付は会費とは違って、金額や期限の指定はございません。みなさまひとり一人のお気持ちを寄せていただき、【根っこを育む】自然学校:「森の遊学舎」の活動をご支援ください。

※2011年度のご寄付は全額を東日本大震災の救援、支援活動および「こめらの森・南会津」に活用させていただきました。(ˆoˆ)ノ



## ●ご寄付の機会

### 1. 入会 や 更新、プログラム参加の前後に

きっかけは十人十色ですが、各種プログラムの参加者や会員の方とは何かしらのご縁があるのでしょう。

私達はあなたの想いを実現し、継続して感動を届けていきたい。さらにそれを周りの方々と共有し、広げていけたらと思っています。ご自分やご家族の入会または更新、プログラム参加の際に、僅かでも結構です。お気持ちを添えていただけると嬉しいです。

### 2. 遺産相続・財産分与(ご自分や故人の遺志を広く社会に役立てるために)

あなたの想いが形になります。人は自然によって生かされている。人は人とのつながりによって元気をもらい、支えあっている。それぞれのご事情はありますが、世の中という土壌が豊かであれば、ひとり一人が幸せに生きて、亡くなる時には笑って、次の世代を育ててゆくことが可能ではないでしょうか。今まで築き上げてきたものを、未来に活かすお手伝いをさせてください。

### 3. 冠婚葬祭(お子さんやお孫さんの誕生記念、ご家族や親戚のご結婚、ご葬儀 など)

大切な皆さまからのご祝儀やお香典のお返しの際に、心からの感謝を伝えるために。

品物で「礼を尽くす」だけでなく、一部を寄付金とすることで「社会貢献をしたい」というお申し出を受け付けています。

\* 森の遊学舎の活動を支援していただいた、ご本人やご家族、参加者などの方々へお配りするために、同封できるお礼状やカードをご用意します。

### 4. ふと思い立ったときに

どんなきっかけでも構いません。あなたが大切だと思うことを実現してゆくために。人間だけではなく、全ての命あるものが生き生きと暮らしていけますように。子ども達と地球の未来に。私達の活動がお役に立てれば、とても嬉しいです。

## ■ご寄付の目的・用途

### 1. 一般寄付(森の遊学舎の活動全般を支援する)

子ども～大人、家族のキャンプやスタッフ育成、備品の購入、プログラム開発から啓蒙、広報まで、森の遊学舎が取り組んでいる活動全般をご支援いただくものです。用途は私達に一任させていただきます。

★活用例: 自然体験交流会で「寝袋」を借りられました。のびのびキャンプ 2008 の食材費になりました。ご寄付ありがとうございます！！



### 2. 特別寄付(ある特定の活動について支援する)

森の遊学舎が展開しているさまざまな活動の中から、特定のプロジェクトをご支援いただくものです。

★ただいま募集中のプロジェクト★

①「火起こし出前授業」⇒ 幼・保・小・中・高へ「火起こし」のワークショップへ伺います。年間2校の現状改善。目標は10校！！

②「こめらの森・南会津」⇒ 東日本大震災により被災した子どもたちのために、小さな共同体をみんなで創り、継続して支援中。



## 【送金先】

【ゆうちょ銀行の口座から】記号10420 番号25036271 特定非営利活動法人 森の遊学舎

【その他の金融機関口座から】ゆうちょ銀行048支店(ゼロヨンハチ)普通預金 2503627 名義は同上

## ■有価証券・金券によるご寄付 や 物資も歓迎いたします。

商品券、旅行券、ビール券、プリペイドカード、テレホンカード、図書券、鉄道・バスカード、官製はがき(書損可)、切手(未使用)などお手持ちのものを事務局へご送付ください。物資は活用の可能性と保管スペース確保の都合上、事前に電話連絡をお願いします。

【今までの事例】: 商品券、図書券、子ども用の雨具(カッパ)、ウエットスーツ、登山靴(大人・こども)、ダッチオーブン、七輪、火鉢、テントなど

## ●事業に参加しなくても会員になったり、寄付をしたりできますか？

はい、もちろんです。そういった形でご入会やご寄付を戴くことが増えてきました。私達はそれを「応援メッセージ」だと考えています。利益ではなく、世の中が元気になること！を第一に。そんな難しくて面白い活動が続けていくには、森の遊学舎に関心を持っていただくしかありません。例えば、ご自分が参加して楽しかったこと。感動したことを共有できる仲間が増えたらいいなあと思いませんか。今は参加できない状況(忙しい、年齢が合わない等)であっても、継続して応援いただければ私達は活き活きと働くことができます。そうやって続ける中で気づいたことや磨いたことは、巡り巡ってあなただけではなく、世の中全体の役に立っていると信じています。

## ●寄付についての活動報告は？

正会員と同様に寄付者(年度内に1万円以上)の方には、1年間の活動成果・会計報告をさせていただきます。

また寄付者のお名前(匿名希望を除く)を掲載した機関紙「遊学通信」などをお届けいたします。

なお1万円未満の方には、ホームページ上の報告にて代えさせていただきます。



## ●森の遊学舎の活動資金は？

私達の活動は3つの資金によって支えられています。そのうち「事業収入」が95%。ほぼプログラムの参加費です。これは、参加者や事業そのものの数によって大きな波があり不安定です。一方で、会員の皆様からいただく「会費」と「寄付」は私達の活動に意味があるのか否かを量るうえで非常に重要です。全体の5%といえども巷に溢れるお誘いや広告宣伝とは別の価値観で考えていただき、わざわざ会員になっていただいたこと。寄付をしていただけたことは、本当にありがたいことです。

## ●年間どれくらいの会費と寄付が必要？

事務局運営には年間150万円(給料を除く)程度が必要です。しかし08年度は会費(57人)と寄付(2人)の合計で17万5500円。不足分は自然学校事業から補填しました。経費を全て会費で賄うためには、単純計算で150人の正会員が必要となり、それはそれで別の問題が出るでしょう。ですから、現実的には100人前後の個人と30程度の団体・企業に賛同していただき、会費(3割)と寄付(7割)を目標にバランスをとりたいと思います。改善の仕組み作りと活動を広めるため、皆様にご協力をいただけると嬉しいです。

## ●寄付のほかにどんなことで協力できますか？

### 1. 話して伝える・書いて伝える

- ①「子育て」や「教育」、「自然環境」、「旅」、「食べ物」について、関心の高い方にお会いする時。話題になりそうな場所(母親学級、同窓会、美容院、食事会など)で、活動写真(会員証の裏など)を見せたり、ご自分の体験を話していただけると嬉しいです。
- ②お友達への手紙に一言、添えてください。その際に森の遊学舎の活動案内を同封していただけると輪が広がります。
- ③メールやブログ、掲示板、フェイスブック等で、私達の活動やあなたが感じたことを書いてください。ホームページのリンクもぜひ！
- ④ペンの力は偉大です！地域の情報誌や回覧板、会報、著書、新聞投稿、PTA、子ども会、ホームページなどでご紹介ください。

### 2. ボランティア活動をする

配布資料のコピー。感想文の打ちこみ。ラベル貼り。パンフレットやチラシ配布。募金箱の設置。参考になりそうな本を探す。など。あなたの得意なこと、できることで助けてください！どんな小さなことでも、あなたが手を挙げ、力をかして下さるのは喜びです！

### 3. 会員になる

会員になって、森の遊学舎の活動に参加してください。私達はあなたとの出逢いや一緒に楽しむ貴重な時間を大切にしています。何か感じたことがあればメールやFAX、お手紙、電話などで私達に聴かせていただけませんか。あなたの声は何よりの励みです。

### 4. お友達を紹介する

森の遊学舎にあなたの大切なお友達をご紹介ください。あなた自身の想いや感動を共有したり、広げてゆく仲間を増やしましょう。

### 5. スタッフになる

自然学校のスタッフとして活動しませんか。共に汗を流し、子ども達と一緒に遊びながら成長していく大人の方を必要としています。任意団体から始まって12年。あと数年もすれば、参加者だった子ども達がスタッフとして還ってくるかも。そんな期待もしています。

